

## 予備自衛官5日間訓練

自衛隊山梨地方協力本部（本部長前野直樹1等陸佐）は9月17日（金）から9月21日（火）までの間、第1特科隊第3中隊が担任・実施した令和3年度第2回予備自衛官5日間訓練に、予備自衛官56名を招集しました。

山梨県ではまん延防止等重点処置が12日に解除されたばかりの状況での訓練となりましたが、出頭した予備自衛官は整齊と訓練開始式に臨み、第3中隊長に対して訓練開始申告を行い、引き続き予備自衛官旗を授与されました。

また、本訓練間には、山梨地方協力本部長より年齢上限まで任期を全うした予備自衛官に対し顕彰状の授与及び、永年勤続者に対する永年勤続表彰伝達が行われました。

予備自衛官の方からは「装備品等も時代とともに変化し、扱うべき隊員の質の向上も求められると実感した」等のご意見をいただくとともに、初

出頭となった予備自衛官の方からは「貴重な訓練を経験でき勉強になった」等の感想が聞かれました。

山梨地本は今後も予備自衛官、雇用企業及び部隊との綿密な調整を行い、皆さんが安心して訓練に参加出来るよう出頭環境の整備に努めて参ります。

予備自衛官の方からは「装備品等も時代とともに変化し、扱うべき隊員の質の向上も求められると実感した」等のご意見をいただくとともに、初出頭となった予備自衛官の方からは「貴重な訓練を経験でき勉強になった」等の感想が聞かれました。



予備自衛官旗授与式



操法訓練



顕彰状授与式



出頭受付

## 秋季の採用試験始まる

山梨地本は、9月から一般曹候補生と自衛官候補生の秋季の採用試験を皮切りに各種目において採用試験が始まりました。感染者数は減少傾向にはありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限に留意して採用試験を実施しています。

9月17日（金）から19日（日）の午前一般曹候補生1次試験、午後自衛官候補生筆記試験を甲府合同庁舎並びに、都留市にある山梨県男女共同参画推進センターぴゅあ富士の2ヶ所においてそれぞれ実施しました。また、10月に入ってから2日（土）、3日（日）に自衛官候補生の口述試験・身体検査、5日（火）に予備自衛官補採用試験、9日（土）から11日（月）に一般曹候補生2次試験を北富士駐屯地においてそれぞれ実施しました。口述試験を受験した高校生は、「部活動で得た経験を生かし、頑張りたい」等にそれぞれの思いをアピールしていました。さらに、16日（土）に防衛医科大学校看護学科、23日（土）に防衛医科大学校医学科の採用試験を甲府合同庁舎で実施しました。

長い試験時間にもかかわらず、どの試験会場においても受験者達は、最後まで真剣な表情で試験に臨んでいました。今後、11月6日（土）、7日（日）に防衛大学校採用試験、11月13日（土）に自衛官候補生採用試験が予定されています。なお、自衛官候補生採用試験の受付及び各種採用試験のご案内は、年間を通じて行っています。詳しくは山梨地本までお問い合わせください。



受付の様子



一般曹候補生採用試験の様子